

ホロコーストとは

ナチ・ドイツとその占領下のヨーロッパで起きたユダヤ人の迫害・虐殺(1933-45年)。約600万のユダヤ人が殺された。障害者やロマ(ジプシー)、同性愛者も迫害の対象となった。

不況に苦しむドイツ - ヒトラーが登場したころ

第一次世界大戦(1914-18年)に負けたドイツは、領土を失い、巨額の賠償金を抱えた。1929年の世界恐慌によりドイツの経済は大打撃を受け、失業者が町中にあふれた。そのような社会不安の中、ナチ党(国民社会主義ドイツ労働者党)を率いるアドルフ・ヒトラーが登場する。

ヒトラーは、「ユダヤ人が悪の根源である」というイメージを打ち立てた。新聞やラジオ、映画などを利用して、「ユダヤ人は敵である」、「ユダヤ人を憎むことは国のためである」と叫んだ。ドイツの誇りをとりもどしたいと考えていた人々は、強い指導者としてのヒトラーを支持した。

差別の法律がつくられる - ニュルンベルク法

1935年、ナチ政権はニュルンベルク法を制定。これは、ユダヤ人の市民権を奪い、ユダヤ人がユダヤ人以外の人と結婚することを禁じた。さらに、公職からユダヤ人を排除し、医者や弁護士として開業することも禁止した。

1938年11月、ドイツ全土で、1000以上のユダヤ教会(シナゴグ)や店、家などが破壊された。この翌日、約3万人のユダヤ人が強制収容所へ送られた。ドイツ国内のユダヤ人への差別がいよいよ暴力に変わり、多くのユダヤ人が、ヨーロッパの他の国々やアメリカなどへの逃げ道を探した。



ユダヤ人が着用を命じられた差別のしるし(黄色いダビデの星)

「ユダヤ人」とは誰か

ユダヤ人とは、ユダヤ教信徒またはその子孫。ヨーロッパのキリスト教社会では長く、少数派の異教徒として忌み嫌われ、差別や暴力を受けることがあった。しかし、ナチ・ドイツのもとで、ユダヤ人は劣等な「人種」として迫害の対象になる。ユダヤ人を区別するために、祖父母の代の「信仰」を調べて、ユダヤ人と非ユダヤ人を分けた。

第二次世界大戦

1939年9月、ドイツはポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が始まる。同時に、ユダヤ人迫害がナチ占領下のヨーロッパの国々へと広がり、多くのユダヤ人が逃げ場を失った。

1941年6月、ドイツはソ連に侵攻。銃殺隊(アインザッツグルッペン)がユダヤ人の村を襲い、大人も子どもも残らず集めて殺害した。

死の収容所がつくられた

1942年1月、ヨーロッパ全土のユダヤ人を殺害する計画を確認しあうために、ナチ高官や外務省、法務省の代表らがベルリン郊外のヴァンゼーに集う。会議の出席者15名のうち過半数が博士号を持つエリートだった。

「ホロコーストを学ぶ理由は、私たちがもっと人間らしく、心やさしく、思いやり深くなるためです。一人ひとりの命はひとしく、無限の価値があることを知り、このような恐ろしいことが二度と起きないように、人道を重んじる世界をつくりだすためです。」

デズモンド・ツツ

南アフリカのアパルトヘイトと戦った司教ノーベル平和賞受賞者

アウシュヴィッツをはじめ、大規模な「死の工場」(絶滅収容所)がドイツ占領下のポーランドに六ヶ所建設され、大量虐殺が加速した。ヨーロッパ全土から貨車に乗せられたユダヤ人が次々と送りこまれ

た。

アウシュヴィッツでは、子どもや老人は「働けないもの」として分けられ、ガス室などで殺された。



アウシュヴィッツ強制・絶滅収容所(現在のポーランド)

労働力として選り出された人たちは、髪の毛をそられ、腕には名前の代わりとなる番号を入れ墨された。粗末な食事しか与えられず、隣接する工場や石切り場などで働かされた。飢えや伝染病、看守の暴力などに耐えられず力尽きた人たちは、ふたたび「命の選別」によりガス室へ送られた。

ヨーロッパでの終戦 収容所が解放される

1944年、ドイツの敗戦が間近になる一方で、ユダヤ人虐殺はますます勢いを増す。しかし、1945年、西と東から進撃してきた連合軍がドイツに打ち勝ち、収容所をつぎつぎと解放していった。そこには多くの死体が放置され、伝染病が猛威をふるい、かろうじて生きのびた人たちが残っていた。

国連、「ホロコースト国際デー」を制定する

ホロコーストや第二次世界大戦の反省から、すべての人は、生まれながらにして自由であり、その人権は守られなければならないという「世界人権宣言」がつくられた。

ホロコーストは、偏見や差別、憎しみの恐ろしさを全人類に警告している。戦後60年の2005年、国連はアウシュヴィッツ収容所が解放された1月27日を「ホロコースト国際デー」と定めた。違いを認め、受け入れあう寛容な社会を築くため、ホロコーストの教訓を今日に生かし、教育の場で取り上げていこうと加盟国に呼びかけている。

「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目である」

(元ドイツ大統領ヴァイツゼッカー)

収容所跡地などには現在は記念碑が建ち、博物館が公開されている。ナチ政権獲得80年の2013年、当時のメルケル首相は「ナチが生まれたのは、一部のエリートだけの責任ではなく、沈黙していた市民にも責任がある」と演説をした。

▶さらに詳しく知るために-----

『ヒトラーとナチ・ドイツ』石田勇治著(講談社)

『検証ナチスは「良いこと」もしたのか?』小野寺拓也、田野大輔著(岩波ブックレット)

歴史と記憶をめぐる対話に参加しませんか

戦争と暴力が今なお続く世界で、歴史を継承する、歴史から学ぶとはどういうことか、日本とアジアの歴史もふりかえりながら、あらためて問い直してみませんか。私たちは何を、どのように記憶し、それは私たちの社会をどんな風に形づかっていくだろう。NPO 法人ホロコースト教育資料センター(以下 Kokoro)では、歴史と記憶をテーマにした様々な学びや対話の場をつくっています。

ワークショップ

参加型のアクティビティを取り入れたワークショップを実施しています。虐殺という結果だけでなく、なぜ、どのようにして起きたのかという過程に注目します。



▷問いづくり

歴史をちゃんと知らない
と自分の意見は言いにくい。
どこから学んだらいい
のか分からない。自分からは
遠く離れたできごと
に感じてしまう。そんな風
に思ったことはありません
か。そんな時は、分からないこと
や疑問に思ったことを「問
い」にしてみる
ことから始めてみませんか。
ひとつの記念碑、一枚の写
真、ひとりの人生をめぐって
問いを出し合い、歴史と出
会う「問いづくり」ワーク
ショップを開催しています。



▷哲学対話

歴史と出会い、記憶のか
たちに思いをめぐらせて、
さらに考えてみたい、誰か
と話してみたいと思う
テーマが生まれたり、その
問いで対話をしてみ
ませんか。自由に発言し
ていい、人の意見を否定
しない、途中で考えが
変わってもいい、分
からなくなってもいい、
などの「哲学対話」の
ルールのもと、輪にな
って話します。問い合
い、お互いの言葉を聴
き合い、共に考える
という営みは、「共に
生きる」こと(『考
えるとはどういうこと
か』梶谷真司著(幻冬
舎刊)。Kokoro では
小さな平和実践とし
て哲学対話の場を作
っています。



詳しくは下記をご覧ください

NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)
ホームページ <http://www.npokokoro.com>
Instagram @hanassuitcase
Facebook @npo.therc

▶今秋より新しい名前「Kokoro のかばん」になります

スタディツアー

ヨーロッパへ「ホロコーストの記憶」をたどる旅に出かけてみませんか。Kokoro ではアウシュヴィッツなどの史跡や記念碑や博物館を訪ねるスタディツアーを企画・実施しています。歴史の現場に立ってみると、答えよりも多くの問いが与えられます。日本やアジアの社会や歴史をめぐる様々な問いも自然と生まれてきます。ツアーメイトと対話をしながら、一緒に考えながら、旅をします。お近くの大学生協で「テーマのある旅：ヨーロッパピーススタディツアー」についておたずねください。今回は8月18日(月)出発のポーランド8日間の旅です。



インターンシップ

Kokoro では大学生インターンを定期的に迎えています。2025年現在、1期生から9期生まで合計36名が5~6ヶ月間のインターンシップに参加しています。ワークショップのアシスタントを務めたり、歴史を身近に感じることができ
るようなSNSでの広報を担当したり、ポッドキャストでの音声配信「Kokoro ラジオ」にも挑戦しています。毎年2~3回、募集説明会があります。



グローバル歴史対話

国や民族、文化も異なる者同士で集い、お互いに身近な歴史を語り、耳を傾け合い、私たちの今と未来を考える様々な歴史対話の取り組みがあります。2022年にはドイツのベルリンで世界各地から250名が集い、若者歴史フェスティバル histoCON(ヒストコン)が開催されました。「歴史は、日々の政治の舞台に登場する。つまり私たちの暮らしと切り離せないもの。歴史を知ること
は今を理解し、未来を形づくるために欠かせない。だから”過去をふりかえり、未来を展望しよう”」という趣旨のもと、演劇や街歩き、コラージュ作成、ゲームや料理、写真撮影など、多様なアクティビティを通して歴史と現在との繋がりや私たちの社会について考えました。Kokoro も2024年に若者歴史対話—Bridge Stories across Borders(bristo)を開催し、日独在住の多様なルーツの若者20名がベルリンに集い、「歴史とは何か」というテーマで探求する5日間をともに過ごしました。これからの募集がある際にはKokoroのSNSでも発信します。

